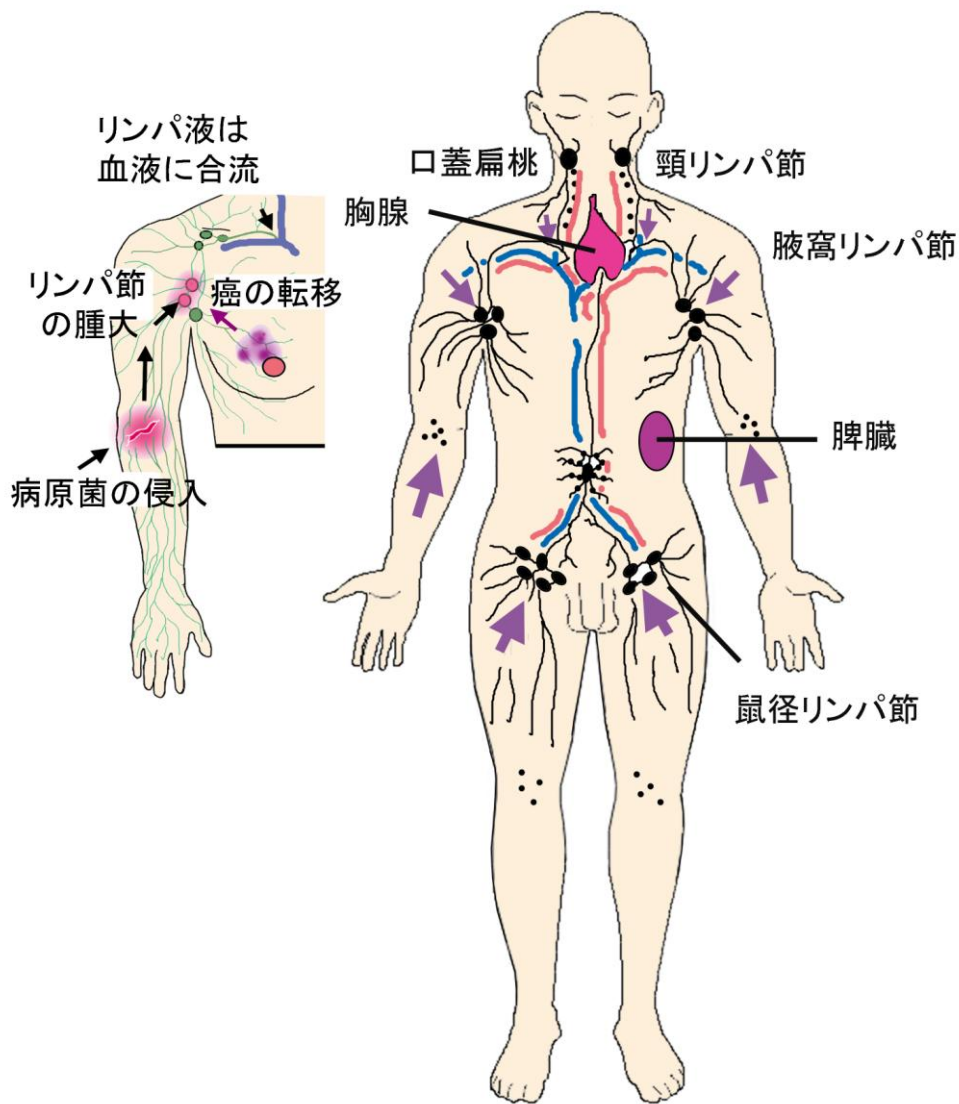


## 病原細菌の侵入と癌の転移



**右図：**リンパは組織液を集めて血液に戻すシステムである。四肢の付け根にはリンパ節が集合し、体内への抗原物質の侵入を防いでいる。また血液中には胸腺で生成されたTリンパ球が循環し、生体内を監視しながら抗原との接触の機会をうかがっている。

**左図：**リンパ液中に病原細菌や癌細胞があると、このリンパ節で止められる。リンパ節に入った病原細菌はマクロファージなどの食細胞によって排除されるが、細菌の毒性が強い場合はリンパ節内で炎症を起こしリンパ節炎となり腫大する。またリンパ液の環流は癌細胞の転移の原因となりやすい。これをリンパ行性の転移と呼び、リンパ節内で癌細胞の増殖を認める場合がある。また胸管と血管合流部付近のリンパ節群をウィルヒョウリンパ節と呼ぶことがある。特に乳癌の転移では腋窩リンパ節に転移が多い。そして前腕から上腕における浮腫を見ることがある。